

柏尾の風



横浜市立柏尾小学校

学校便り

6月号

令和5年5月31日

体験は力になる

副校長 松本 未紀

どんよりとした曇り空の下でも、子どもたちの笑顔は輝いています。この4月に着任してまいりました副校長 松本未紀と申します。着任してから2か月。柏尾小学校の子どもたちはとても素直でご家庭で温かく育てられていることを実感しています。どうぞよろしくをお願いします。

柏尾小学校に着任して間もなく、学区を歩いているとすばらしい景色が広がっていました。富士山が綺麗に見え、思わず声がでたほどです。私は静岡県の出身で、進学で家を離れるまで、学校の登校時にはいつも富士山に「今日も頑張ります。」「テストが憂鬱です。」など心の中で唱えながら通っていました。富士山が見えるのが当たり前の日常であったのが、実家を離れ、自分の心も時間も余裕がなくなり、富士山が見られない生活も長くなりました。当たり前の日常がどんなに自分を豊かにしてくれていたかを柏尾小学校からの景色は思い出させてくれました。

さて、先日、6年生と一緒に東京見学に行ってきました。広島サミットの前日だったので厳戒態勢の東京の中で見学をしました。港区立みなと科学館・国会議事堂・皇居周辺などをめぐる一日でした。目に映る景色に素直に歓声を上げる6年生たちを見て、本物を見る・体験する・感じることは代えがたいものを与えてくれると感じました。

国会議事堂の中央塔の真下にある中央広間を見学した時にこんな説明がありました。「ここには、議会政治の基礎を築くのに功労のあった伊藤博文、大隈重信、板垣退助の銅像が立っています。広間の3つの隅に立っているのですが、もう一つの隅には台座だけです。どうしてでしょう。これは将来の皆さんに託された台座です。政治に完成はない、未完の象徴とも言われています。いつか皆さんの誰かがあの台座の上に銅像になっているかもしれませんね。」と夢のある解説をしてくださいました。

学校にも代表委員会という学級の代表が話し合う議決機関があります。今月、そこでは柏尾小学校のテーマが話し合われます。

『なかまにあえる 柏尾小 おー！！』です。

あいさつ

えがお

ルールを守る

おもいやり

これから審議をされますが、きっと国会審議に負けない、より良い学校を目指した話し合いが行われることでしょう。楽しみです。

